

教科(科目)	福祉（こころとからだの理解）	実施学年 (履修規定)	第2学年 必修
単位数	2単位	教科書	
		副教材	最新介護福祉全書 9 発達と老化の理解 最新介護福祉全書11 障害の理解 介護キーワードマップ 3
科目の目標	高齢者と健康について、生活習慣が関連する疾病を含め、高齢者に多い疾病や症状の現れ方の特徴、身体の不調の訴えなどを取り上げて理解させるとともに日常生活上での留意点についても理解させる。 生活機能障害における、運動機能障害、内部機能障害などの身体障害について、各種障害の種類と原因など障害の医学的な基礎知識を習得させる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> 「介護のため」という視点のもと理論と実践の融合を目指す。 介護実践に必要な知識という観点から健康や障害について知識を養う。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	オリエンテーション 高齢者に多い 症状・病気	こころとからだの理解で学ぶ事柄 授業の進め方 I 高齢者に多い症状と日常生活における留意点 1 老年症候群・廃用症候群	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・学習すべき内容のイメージ ができプリントや資料が整理 できる。 ・高齢者に多い症状、観察項 目を理解する。
5		2 高齢者に生じやすい症状や病気 かゆみ・褥瘡 不眠 意識障害 発熱 脱水 深部静脈血栓症	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・症状の発現のしくみについ て基本的な内容を理解し、専 門用語で答えることができる。
中間考査				
6		II 高齢者に多い病気と日常生活での留意点 A 糖尿病 B 動脈硬化症と心筋梗塞 C 高血圧 D 脳卒中	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・高齢者に多い病気と留意点 について、基本的な内容を理 解し、介護上のポイントを専 門用語で答えることができる。
7		E 大腿骨頸部骨折・骨粗鬆症 F 肺炎	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・異常発見のための変化が観 察できる。
期末考査				
8	夏季休業			
9	運動機能障害の ある人の理解	I 運動機能障害についての基礎知識 A 定義と動向 B 運動機能のしくみ	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・運動機能障害の基本的内容 が理解できる。 ・神経、骨、関節、筋肉につ いて基本的内容を理解し、専 門用語で答えることができる。
10		C 運動機能障害 II 運動機能障害のある人の心理 III 日常生活への影響とアセスメントの視点	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・機能低下の原因とその影響 を理解し、異常発見のため介 助時の観察点が述べられる。
中間考査				

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 1	内部障害のある人の理解	I 内部障害の定義と動向 II 心臓機能障害のある人 A 心臓の基礎知識 心臓のしくみと働き 心不全・ペースメーカー B 心臓機能障害のある人の心理 C 日常生活への影響とアセスメントの視点 III 呼吸機能障害のある人 A 呼吸器の基礎知識 呼吸器のしくみと働き 呼吸機能障害 認定基準, 原因疾患, 治療	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・内部障害における統計的内容を理解できる。 ・心臓のしくみと働きについて理解し説明できる。 ・心臓機能障害やその治療について介護上のポイントを理解し説明できる。 ・呼吸器のしくみと働きについて理解し説明できる。
1 2		B 呼吸機能障害のある人の心理 C 日常生活への影響とアセスメントの視点 IV 腎臓機能障害のある人 A 腎臓の基礎知識 腎臓のしくみと働き 腎臓機能障害 治療 B 腎臓機能障害のある人の心理 C 日常生活への影響とアセスメントの視点	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・呼吸機能障害やその治療について介護上のポイントを理解し説明できる。 ・心臓のしくみと働きについて理解し説明できる。 ・心臓機能障害やその治療について介護上のポイントを理解し説明できる。
期末考査				
1		V 排泄器官の機能障害のある人 A 排泄器官(膀胱・直腸)の基礎知識 排泄器官のしくみと働き 排尿器官 蓄尿と尿排出 排便器官 排便の流れ 排泄器官の機能障害 B 排泄器官の機能障害のある人の心理 C 日常生活への影響とアセスメントの視点	授業観察 プリント確認 確認テスト	・便, 尿の生成や排泄に関する基礎知識を理解している。 ・排泄行動や排泄の仕組みに機能低下・障害が起こった時利用者の状況がイメージできる。
2		VI 小腸の機能障害のある人 A 小腸の基礎知識 小腸のしくみと働き 小腸の機能障害 B 小腸の機能障害のある人の心理	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・小腸のしくみと働きについて理解し説明できる。 ・小腸機能障害やその治療について介護上のポイントを理解し説明できる。
3		C 日常生活への影響とアセスメントの視点	プリント確認 ファイル確認 確認テスト	
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

- ① 関心・意欲・態度 人間に対して介護活動を行う上で積極的に理解しよう関わろうとする態度を身に付けている。
- ② 思考・判断 高齢者に多い疾患や・各種障害における基礎的・基本的な知識・科学的根拠をもとに利用者に必要とされる介護内容を考え、課題を把握し明確化する能力を身につけている。
- ③ 技能・表現 高齢者に多い疾患や・各種障害における基礎的・基本的な知識・科学的根拠をもとに利用者に必要とされる介護内容を考え、課題を把握し明確に表現する。またその表現方法は、同じ専門職者と共通理解を図ることができるものである。
- ④ 知識・技能 高齢者に多い疾患や・各種障害に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、介護におけることとからだのしくみの学習の目的や役割を理解している。

「こころとからだの理解」の総合評価における各観点の割合

- | | | | |
|------------|--------|---------|--------|
| ① 関心・意欲・態度 | 20 %程度 | ② 思考・判断 | 25 %程度 |
| ③ 技能・表現 | 25 %程度 | ④ 知識・技能 | 30 %程度 |